

暮らしを守り、賑わいを創る～持続可能なまちづくりにむけて～

これまでの積極投資がもたらした本市の厳しい財政状況を改善し、将来にわたって持続可能な財政運営を行うために、市民生活への影響は最小限に抑えながら財政再建に取り組みます。一方で、加速する人口減少に立ち向かうため、子育て世帯への充実した支援を継続し、転入促進・転出抑制を図るとともに、まちを元気にするため、新しく完成するB & G 海洋センターをはじめとする駅周辺の賑わい創出に取り組みます。

方針① 厳しい財政状況からの脱却

令和7年度から5年間、事業の見直しと業務効率化を進め、財政調整基金に頼らない、収支が均衡した持続可能な財政構造への転換を図ります。

【歳入の確保】受益者負担の適正化、自主財源の確保

【歳出の削減】人件費の見直し、事業見直し、補助金の適正化等

方針② 「選ばれるまち」ふちゅうの実現に向けた取組



総合計画に掲げるまちの将来像

重点1) 府中駅周辺の賑わいづくり

「道の駅びんご府中」や「i-coreFUCHU」の集客に加え、「新B & G海洋センター」や「道の駅ひろば（仮称）」のオープンにより新たに生まれる人の流れをまちの賑わいとし、まちの活性化と市内への経済波及効果を創出します。

重点2) 子育て世帯への支援

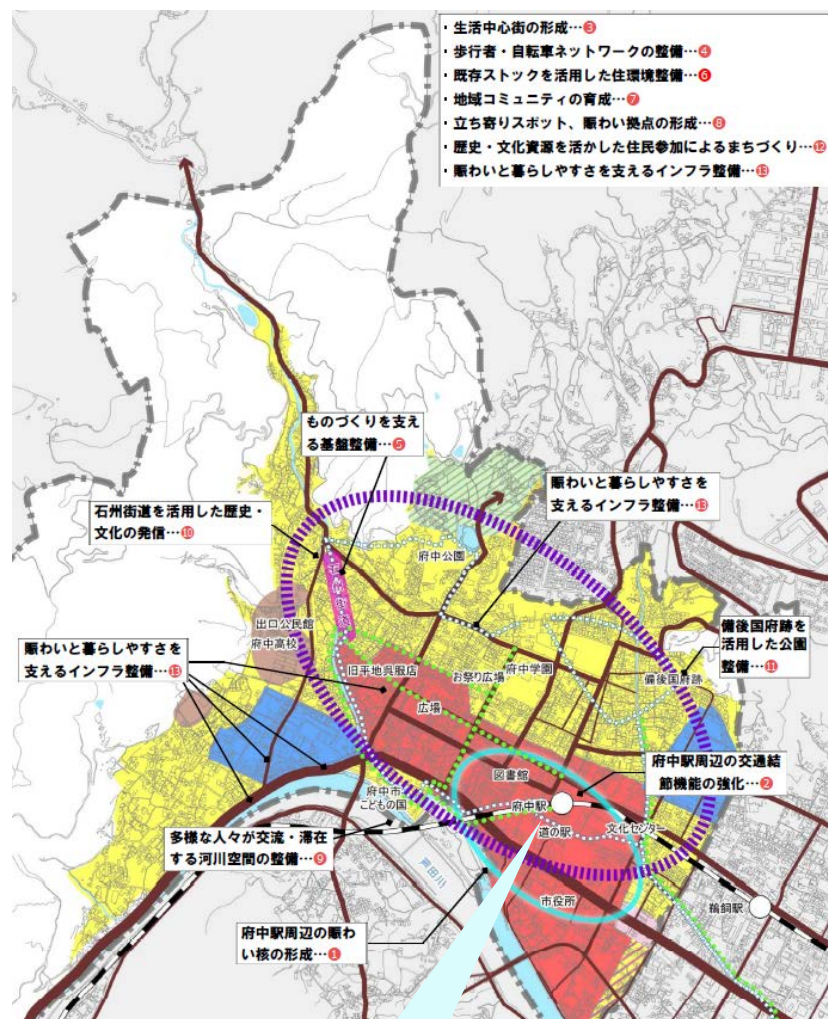
昨年度から実施している0～2歳児の保育料無償化をはじめ、18歳までの医療費助成の拡大、保育所の広域入所、子育て相談機能の強化などの子育て支援を継続し、子育て世帯の転出防止・転入促進を図ります。

駅周辺を中心とした賑わいづくり

「道の駅びんご府中」や「i-coreFUCHU」の集客に加え、7月にオープンする「新府中市B&G海洋センター」の利用者による人流をまちの賑わいとし、まちの活性化と市内への経済波及効果を創出します。

これまでの道の駅・i-coreFUCHUに「道の駅ひろば（仮称）」を加え、エリア内でフード・アート・音楽・マルシェ・ファミリー・ものづくり体験等、日常的に参加できるイベントや講座を開催し、賑わいを生みだし、市の内外から訪れた人々が周辺エリアにも立ち寄ることで、相乗的な市内の賑わい・活性化につなげていきます。

エリア全体で人流・賑わいの創出を図るにあたっては、各施設をシームレスにつなぎ、トータルで進めていく必要があるため、i-coreFUCHU（インフォメーションカウンター）で本エリアの貸出スペース（屋内・屋外）の利用予約受付等エリア内イベントをコーディネートします。これにより、多様な活動をトータルでけん引し、市民の新しいチャレンジを応援するエリアとし、さらに新たな交流と文化が生まれる場づくりを進めることで地域の価値を高めます。また、道の駅にチャレンジショップスペースを整備することにより、市内企業を応援することで地域産品をつかった新たな特産品や名物の創出を目指します。



府中市都市計画マスタープラン（令和5年改訂版） p.117
「地域づくり方針図」

【図書館周辺整備事業】

要望の多かった駐車スペースを整備し、利用者増を見込んでいます。図書館利用者が作り出す人流を中心市街地のさらなる活性化につなげます。



【道の駅ひろば（仮称）の運用】

新B&G海洋センター横のスペースでは、多くの人々が楽しみながらくつろげるようなエリアを目指しつつ、イベントがない日には駐車スペースとして活用します。



【道の駅北館（チャレンジショップ）】

道の駅北館（交流テラス）を短期間レンタル可能なチャレンジショップとすることで、プール利用者をターゲットにしたビジネスチャンスの創出とともに、本エリア来訪者に向けたサービス向上・コンテンツ充実を図ります。



【i-core FUCHU インフォメーションカウンター】

i-core FUCHUには、カフェのほか市民や各種サークル活動の利用、市内産業等の地域資源を活用した「コトおこし」を後押しする空間（ギャラリー）を整備しました。インフォメーションカウンターでは、貸出空間の利用予約受付を行っています。屋外の「道の駅ひろば」の利用予約についても受け付けることとし、屋内・屋外のイベントのコーディネートによって交流人口の拡大と、商用イベントによるビジネスチャンスの創出を図ります。



【新B&G海洋センター】

世代を超えて楽しみながら健康増進を図る人々が集い、その利用者による人流が域内に活気と経済効果をもたらします。



目 次

○令和 7 年度の重点施策及び主要事業	4
○重点施策を実現する主要事業（主要事業説明シート）	11
○令和 7 年度当初予算関係資料	30

令和 7 年度の重点施策及び主要事業

重点施策を実現するための主要事業

合計 10 事業 : 事業費計 1,494,241 千円

うち新規事業(一部新規を含む)

5 事業 : 293,661 千円

うち継続事業

5 事業 : 1,200,580 千円

1 力強い産業が発展するまち 事業費：20,180 千円

(1)「農」の持つ可能性と新たな価値を追求するなど、未来につながる農林業の振興を図ります

● 農業振興ビジョンの実現に向けて 【一部新規】 20,180 千円 《資料1》

農業振興ビジョンに基づく取組（新規就農者、多様な担い手の確保・育成、スマート農業推進による生産性向上や高付加価値化、「みどりの食料システム戦略」を踏まえた取組、農業関連ビジネス（アグリビジネス）の展開など）を確実に進め、「稼ぐ農業」を実現するとともに、農業振興の重点課題である鳥獣被害防止対策の強化を図り、次世代につなぐ持続可能な農業・農村へとつなげます。

◇ 鳥獣被害防止対策強化 【新規】 8,180 千円

（一社）広島県鳥獣被害対策等地域支援機構（通称：tegōs^{テゴス}）に参画し、鳥獣対策の専任職員を市へ配置することで、鳥獣による被害状況の実態把握や鳥獣対策に対する現地指導を強化し、鳥獣被害に強い集落の形成及び農作物被害の低減を図ります。

◇ 多様な担い手の確保・育成 【継続】 1,200 千円

チャレンジファームによる新規就農者支援を行うことで、府中市で新規就農するメリットをアピールするとともに、農業体験などの農業に関わる機会を提供することで農業への入口を拓き、半農半Xや農業法人での雇用といった多様な担い手の確保・育成につなげます。

◇ 農業の競争力向上 【継続】 8,000 千円

「稼ぐ農業」を実践し活力ある強い農業の実現のため、農作業の機械化、スマート農業技術（省力化、軽労化、高生産性）の効果的導入を支援します。

◇ 地域循環型農業の推進 【継続】 2,000 千円

市内の堆肥加工センターで生産される有機堆肥の利用を農業者に広め、環境にやさしく、安全で安心な農産物の生産を目指します。また、堆肥の販売や散布を行う受託者に対して補助金を交付することで、事業の安定化を図ります。

◇ 農業関連ビジネスの育成 【継続】 800 千円

地域主体の農業体験や農村資源を活用したイベント開催、シェフと連携した地元食材を使ったメニュー開発、府中市農作物の販売促進を支援し、農業関連ビジネスの展開、拡大を目指します。

(1) 安心して子供を産み育てることができる環境をつくります

● 子育て支援の推進【継続】 130,514 千円 《資料 2》

◇ こどものウェルビーイングの実現【拡充】 19,471 千円

こどものウェルビーイングにとって重要な要素となる児童虐待やいじめなどを早期に発見し、防止への支援体制につなげていくために、こども家庭センターを中心にこどもの予防的支援事業を本格的に運用します。

また、こどもの発達や健康状態を総合的に確認し、必要な支援を早期に提供することを目的に、令和 7 年度から 5 歳児健診を子育てステーションちゅちゅでスタートさせます。

◇ 経済的支援【継続】 111,043 千円

0 歳児からの保育料の無償化や 18 歳までのこどもの医療費助成を継続することで、全ての子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境整備に努めます。

◇ 地域との連携【継続】

地域の中で子育て家庭が支えられるよう、在宅で子育てをしている家庭を含めて全てのこどもと家庭を対象として、地域のニーズに応じた様々な子育て支援を推進します。

◇ 共育での推進【継続】

男性保護者が参加しやすく、つながりをつくる場となるとともに、家族で子育てに関わる機会を提供します。

◇ 企業との連携【継続】

女性と男性がともにキャリアアップと子育てを両立できるよう、事業者に対して啓発を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備について働き掛けます。

(2) ふるさとを愛し、地域社会や世界で生き抜く力をもった子供を育成します

● 「未来を拓く^{ひら}！」府中市学力向上事業【継続】 61,863 千円 《資料 3》

府中市の児童生徒が自律した学び手となり、自ら獲得した力で未来に挑戦し、多様な他者と協働して新たな価値を創造するための「学力」及び「学びに向かう意欲」の向上を図り、学力向上を通じた未来を拓く力を育てます。

◇ 府中市学力調査活用事業 【継続】 6,441 千円

府中市立学校の全学年対象に統一した学力調査を年2回実施することにより、各校・各学年の学習状況の把握、児童生徒の心の状況を把握、成果と課題の分析による指導改善等に生かしていきます。

◇ A L T 全校配置 【継続】 55,422 千円

府中市立全学校（10校）にA L T 12名を常時配置するだけでなく、A L T の企画による国際文化交流及び学びの場を創出（年2回程度）することにより、府中市のグローバル化を推進します。

● 市内中学校体育館空調設備整備事業 【継続】 150,000 千円 ≪資料4≫

市内中学校体育館に空調設備を整えることにより、授業や部活動、社会体育活動時等における熱中症対策としてだけでなく、災害時の避難場所や避難所としても安全・安心な環境を作ります。

3 活気・賑わいを生むまち 事業費：265,830 千円

(1) 市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力を創出します

● 駅周辺を中心とした賑わいづくり 【一部新規】 147,071 千円 ≪資料5≫

「道の駅びんご府中」や「i-coreFUCHU」の集客に加え、「新B & G海洋センター」「道の駅ひろば（仮称）」のオープンにより新たに生まれる人流をまちの賑わいとし、まちの活性化と市内への経済波及効果を創出します。

◇ 図書館周辺整備事業 【継続】 147,071 千円

要望が多かった駐車スペースを整備し、利用者増を見込むとともに、屋外でも滞留できる空間も設け、図書館利用者が作り出す人流を中心市街地のさらなる活性化につなげます。

◇ 道の駅北館チャレンジショップ 【運用見直し】

道の駅北館（交流テラス）を短期間レンタル可能なチャレンジショップとすることで、新たに生まれる人流をターゲットにしたビジネスチャンスの創出とともに、本エリア来訪者に向けたサービス向上・コンテンツ充実を図ります。

◇ 道の駅広場（仮称）の活用 【新規】

府中市B & G海洋センター横のスペースでは、多くの人々が楽しみながらくつろげるようなエリアを目指しつつ、イベントがない日には駐車スペースとして活用します。

◇ i-core FUCHU インフォメーションカウンター 【運用見直し】

駅南エリア内の屋内（i-core FUCHU）及び屋外（道の駅ひろば）貸出空間の利用予約受付窓口を一本化します。

(2) すべての人がスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、スポーツによる地域の賑わいを創出します

● スポーツを活用した賑わいの創出 【一部新規】 118,759 千円 ≪資料6≫

上下運動公園人工芝グラウンド、スポーツ&ウェルネス拠点施設としての新しいB & G海洋センターの整備を契機として、外部知見との連携を図りながら、地域住民が主体となって、スポーツを活用した賑わいを創出し、その恩恵を市民が享受できる「スポーツのまち府中市」の実現を目指します。

◇ 新B & G海洋センター 【継続】 98,439 千円

令和7年7月1日からの供用開始に向けて、準備段階から積極的な情報発信を行い、利用者の獲得に取り組むとともに、開業後は i-coreFUCHU や道の駅びんご府中などの周辺施設との連携により、新たな人の流れをつくり、エリア全体の賑わいにつなげていきます。

◇ 上下運動公園 【継続】 16,400 千円

多様なスポーツでの利用やイベントなどのスポーツ以外での利用を促進するとともに、スポーツによる賑わいを地域につなぐ施設として、地域との連携を進めています。

◇ 地域スポーツの活性化 【新規】 3,920 千円

少子化や高齢化が進む中で、持続可能なスポーツ活動を推進するためのプラットフォームを構築するため、新たに地域おこし協力隊制度を活用した取組を進めます。

(1) 生涯を通じた市民の健康づくりを推進します

- **健康寿命の延伸 【継続】 134,203 千円** ≪資料 7≫ ※一部事業に国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計の予算を含む

生活習慣病の発症予防と重病化予防を図るとともに、社会生活を営むために必要な機能の維持および向上を目指し、ライフステージに応じた栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙および歯・口腔の健康に関する生活習慣および社会環境の改善に取り組みます。

- ◇ **より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善 【継続】 1,449 千円**

健康寿命の延伸を実現するためには、早期からの健康増進、疾病予防など 1 次予防が何よりも重要であり、生活習慣の改善に向けた啓発を推進します。

- ◇ **生活習慣病の予防・重症化予防 【継続】 92,540 千円**

自分の健康は自分で守る意識を持ち、健診の定期的な受診等により自らの健康状態を知ること、日々の生活習慣を見直し、改善する意識を啓発します。

- ◇ **ライフステージに応じた健康づくりの推進 【継続】 39,344 千円**

自立した健やかな日常生活を送るため、ライフステージや性の特有の健康課題に対して、生涯を経時的に捉えた健康づくりに取り組みます。

- ◇ **健康づくり活動を支える社会環境づくり 【継続】 870 千円**

市民が健康を意識し自ら健康増進活動に取り組めるよう、個人の健康を支える社会環境の質の向上を図ります。

(2) 安全・安心で、快適な暮らしを実感できる生活環境を確保します

- **浸水対策事業 【継続】 724,000 千円** ≪資料 8≫ ※下水道事業会計

平成 30 年 7 月豪雨の際に被害の大きかった中須地域において、浸水対策検討委員会で決定したポンプ機能の強化として、新たに中須ポンプ場を令和 8 年度内の供用開始を目標に整備します。

5 ICT都市ふちゅうの実現 事業費：7,651 千円

(1) 市民サービスの向上に向けた市役所への ICT 導入推進

● 公共施設の手続オンライン化【新規】7,651 千円 ≪資料 9≫

公共施設を使用するために必要となる空き状況の確認や申請等の手続について、24 時間いつでもオンラインで手続が可能となるシステムを導入し、利用率向上及び利用促進を図ります。併せて、使用料等の支払方法としてキャッシュレス決済を導入します。

6 将来像を実現するための行政経営の方針

(1) 持続可能で質の高い行政サービス提供のための行財政基盤の再構築

● 持続可能な財政運営プラン【新規】 ≪資料 10≫

厳しい財政状況からの脱却を図るため、今後の具体的目標や取組項目を示した『持続可能な財政運営プラン』（令和 7 年度～令和 11 年度）に基づき、職員数の抑制と適正配置といった行政改革とともに、持続可能な財政構造への転換を図ります。

◇ 歳出削減

人件費の見直しや既存事業の見直しを図ることで令和 7 年度～令和 11 年度において総額 55.4 億円の歳出削減を図ります。

◇ 歳入確保

徴収率・収納率の向上や受益者負担の適正化などを行うことで令和 7 年度～令和 11 年度において総額 5.1 億円の歳入確保を図ります。

重点施策を実現する主要事業 (主要事業説明シート)

目 次

資料1	【一部新規】	農業振興ビジョンの実現に向けて	- 13 -
資料2	【継続】	子育て支援の推進	- 15 -
資料3	【継続】	「未来を拓く!」府中市学力向上事業	- 17 -
資料4	【継続】	市内中学校体育館空調設備整備事業	- 19 -
資料5	【一部新規】	駅周辺を中心とした賑わいづくり	- 20 -
資料6	【一部新規】	スポーツを活用した賑わいの創出	- 22 -
資料7	【継続】	健康寿命の延伸	- 24 -
資料8	【継続】	浸水対策事業	- 26 -
資料9	【新規】	公共施設の手続オンライン化	- 27 -
資料 10	【新規】	持続可能な財政運営プラン	- 29 -

農業振興ビジョンの実現に向けて【一部新規】

担当課	農林課
電話番号	0847-44-9158（農業振興係） 0847-44-9159（農林整備係）

1 事業の目的

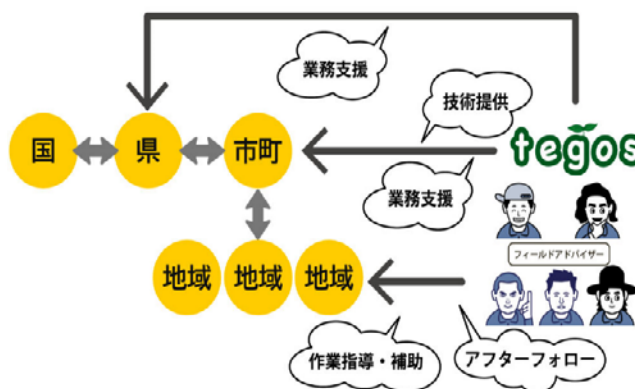
農業振興ビジョンに基づく取組（新規就農者、多様な担い手の確保・育成、スマート農業推進による生産性向上や高付加価値化、「みどりの食料システム戦略」を踏まえた取組、農業関連ビジネス（アグリビジネス）の展開など）を確実に進め、「稼ぐ農業」を実現するとともに、農業振興の重点課題である鳥獣被害防止対策の強化を図り、次世代につなぐ持続可能な農業・農村へとつなげる。

2 事業内容

(1) 鳥獣被害防止対策強化

ア （一社）広島県鳥獣被害対策等地域支援機構（通称：tegōs（テゴス））への参画【新規】

テゴスに参画することで、テゴス所属の鳥獣対策の専任職員を市へ配置することが可能となり、専任職員(テゴス)は市と連携して、鳥獣による被害状況の実態把握や鳥獣対策に対する現地指導などに従事する。市とテゴスが連携し効果的な鳥獣被害対策に取り組み、鳥獣被害に強い集落の形成および農作物被害の低減を図る。



(2) 多様な担い手の確保・育成

ア 新規就農者支援

・チャレンジファーム新規就農者支援事業【継続】

チャレンジファーム広島・上下農場の研修生が研修終了後、安定した生活基盤のもとで農業経営を行うため、就農後2年間に限り、月額10万円の生活支援金を給付し、府中市で新規就農するメリットをアピールし、担い手確保に努める。

イ 農業体験

農業の受け皿となる組織と連携し、様々な農業体験で農業に関わる機会を提供し農業への入口を広げ、半農半Xや農業法人での雇用など、多様な担い手の確保・育成につなげる。

(3) 農業の競争力向上

ア 活力ある強い農業経営基盤整備事業【継続】

「稼ぐ農業」を実践し活力ある強い農業の実現のため、農作業の機械化、スマート農業技術（省力化、軽労化、高生産性）の効果的導入を支援し、農業経営基盤の整備を目指す。



(4) 地域資源循環型農業の推進

ア 有機堆肥利用促進事業【継続】

「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、市内の堆肥加工センター等で生産される有機堆肥の利用を農業者に広め、化学肥料の使用を抑制し、環境にやさしく、安全で安心な農産物の生産を目指す。



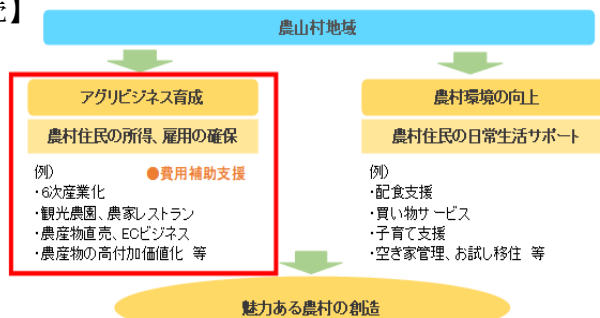
イ 有機堆肥販売事業補助金【継続】

堆肥販売・散布事業の受託者に対し、受託後の5年間に限り、年間100万円の補助金を交付し、業務受託後の早期の事業安定を促し、収益性向上を図る。

(5) 農業関連ビジネスの育成

ア 農業チャレンジ補助金【継続】

地域主体の農業体験や農村資源を活用したイベント開催、シェフと連携した地元食材を使ったメニュー開発、府中市農作物の販売促進を支援し、農業関連ビジネスの展開、拡大を目指す。



3 当初予算額 20,180千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					20,180

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
(1) 鳥獣被害防止対策強化	8,180					8,180
(2) 多様な担い手の確保・育成	1,200					1,200
(3) 農業の競争力向上	8,000					8,000
(4) 地域資源循環型農業の推進	2,000					2,000
(5) 農業関連ビジネスの育成	800					800

子育て支援の推進【継続】

担当課	子育て応援課
電話番号	0847-44-9147

1 事業の目的

第1期府中市こども計画を策定し、府中市のすべてのこども・若者とその家族にとって、家庭・学校・地域において人とのつながりを感じながら安全安心に暮らす中で、心身共に健やかに成長し生活を送ることができ、「どんな人でも尊重される、夢を実現できる、挑戦を応援してくれるまち」となるよう子育て支援の取組を進める。

ライフステージ別 子育て応援メニュー

妊娠期	乳幼児期 0～2歳	保育所・幼稚園 3～6歳	小学校・中学校 義務教育学校 7～15歳	高等学校 16～18歳	大学・専門学校 社会人等 19歳～
子育てへの準備 ○不妊治療等費用助成 ○母子健康手帳交付	こどもの保育・教育 ○保育所（園）・幼稚園等 ○一時預かり ○休日保育 ○病児保育（6年生まで）				
母親と胎児の健康 ○妊婦健診 ○妊娠後期面談 ○パパママ教室	こどもの健康と親育て ○乳幼児健康診査 ○離乳食教室 ○家庭教育支援				
	質の高い教育と次代を担うこどもの育成 ○幼保小連携 ○職場体験活動 ○デートDV講座 ○コミュニティ・スクール ○次世代創造講演会				
	子育て家庭とこどもの居場所づくり ○子育てステーション・子育て支援センター ○地域内での交流促進 ○放課後児童クラブ ○放課後子ども教室 ○こども食堂 ○子育てボランティア				
出産・子育ての不安解消 ○こんにちは赤ちゃん訪問 ○産後ケア事業 ○男性保護者の育児支援 ○子育てステーション・子育て支援センター ○児童虐待の予防・早期発見				若者支援 ○プレコンセプションケア ○結婚支援 ○移住・定住支援 ○ひきこもり対策	
就労支援・ワーク・ライフ・バランスの推進 ○企業の働き方改革の推進 ○市内企業へのインターンシップ ○女性の起業支援 ○魅力発信事業					

2 事業内容

(1) こどものウェルビーイングの実現【拡充】

こどものウェルビーイングにとって重要な要素となる児童虐待やいじめなどを早期に発見し、防止への支援体制につなげていくために、こども家庭センターを中心にこどもの予防的支援事業を本格的に運用する。

また、こどもの発達や健康状態を総合的に確認し、必要な支援を早期に提供することを目的に、令和7年度から新たに5歳児健診を子育てステーションちゅちゅでスタートさせる。

- ・こどもの予防的支援事業
- ・助産師による相談体制
- ・5歳児健診での発達相談
- ・ヤングケアラー対策

(2) 経済的支援【継続】

0歳児からの保育料の無償化や18歳までのこどもの医療費助成を継続することで、全ての子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てのできる環境整備に努める。

- ・0歳児からの保育料無償化
- ・18歳までのこども医療費助成

(3) 地域との連携【継続】

地域の中で子育て家庭が支えられるよう、在宅で子育てをしている家庭を含めて全てのこどもと家庭を対象として、地域のニーズに応じた様々な子育て支援を推進する。

- ・放課後のこどもの居場所の充実
- ・親子での参加イベントの開催

(4) 子育ての推進【継続】

男性保護者が参加しやすく、つながりをつくる場となるとともに、家族で子育てに関わる機会を提供する。

- ・男性保護者の育児支援

(5) 企業との連携【継続】

女性と男性がともにキャリアアップと子育てを両立できるよう、事業者に対して啓発を行うとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備について働き掛けていく。

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・多様な働き方の実現と関連する制度の広報・啓発

3 当初予算額 130,514千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	2,988	18,336	53,600		55,590

(内訳)

(千円)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
(1)-1 子どもの予防的見守り支援事業	6,472		3,235			3,237
(1)-2 乳幼児健康診査費	8,516		380			8,136
(1)-3 助産師相談	4,483	2,988	747			748
(2) こども医療費助成	111,043		13,974	53,600		43,469

「未来を拓く」府中市学力向上事業【継続】

担当課	学校教育課
電話番号	0847-44-9025

1 事業の目的

府中市の児童生徒が自律した学び手となり、自ら獲得した力で未来に挑戦し、多様な他者と協働して新たな価値を創造するための「学力」及び「学びに向かう意欲」の向上を図り、学力向上を通じた未来を拓く力を育てる。

2 事業内容

(1) 府中市学力調査活用事業【継続】

ア 市内の全校、全学年を対象に統一した学力調査を年2回（小1・中3は年1回）実施することで、市内児童生徒の学力の課題等を把握し、個別の支援に活用するとともに、府中市の教職員の指導力の向上及び授業改善につなげる。

イ 市内の全児童生徒の心の状況を把握する i-check 調査を年2回実施する。

i-check 調査は、児童生徒の心の状況やクラスの状況等の課題を把握することができるものであり、学力調査と i-check 調査のクロス分析を行うことで、児童生徒の困り感や学年やクラスの変化を把握するとともに、教職員の効果的な指導に活用する。また、いじめ認知、不登校未然防止のための資料としても活用する。第1回調査を（5月下旬）、第2回調査（1月上旬）に実施する。個々の分析結果は、児童生徒及び保護者との共有資料として活用する。

ウ 学力調査の結果については、府中市教育施策の周知及び学校教育への支援、理解促進のため、全国データとともに府中市立学校全体の結果を公表する。（学校ごとの結果は公表しない）

エ 市内全教職員を対象とした研修の充実を図る。全教職員を対象とした研修会を開催し、学力調査の分析結果をもとに府中市の課題を共有するとともに、教科ごとの研究グループを組織することにより、年間を通して課題分析及び課題克服に向けた授業改善を推進する体制を整えることで指導力の向上を図る。

(2) A L Tの全校配置【継続】

ア 府中市英語授業モデルの構築に向け、A L Tの役割を位置づける。

（府中市立全学校にA L Tを常時配置・A L T…12名 各校1名配置）

イ A L Tの企画による国際文化交流及び学びの場を創出（年2回程度）することにより、府中市のグローバル化を推進する。A L Tの活躍の場の設置及び市民への発信、周知を行う。

3 当初予算額 61,863千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
				2,880	58,983

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
(1) 「未来を拓く」府中市学 力向上事業	6,441					6,441
(2) A L Tの全校配置	55,422				2,880	52,542

市内中学校体育館空調設備整備事業【継続】

担当課	学校教育課 学事係
電話番号	0847-44-9025

1 事業の目的

近年の猛暑により、体育館内の温度環境が厳しさを増している。本事業は、児童生徒の健康・安全確保、学習・運動効率の向上、防災拠点としての機能強化、地域活用の促進を目的とする。空調整備により、夏季の高温による影響を軽減し、適切な教育環境をし、災害時の避難所としての環境改善を図る。

《参考》

暑さ指数 31（危険）を超える日数（府中市）

10 年前との比較

2014 年 7 月：10 日 8 月：7 日 9 月：0 日

2024 年 7 月：15 日 8 月：25 日 9 月：13 日

暑さ指数 28～31（厳重警戒）を超える日数（府中市）

10 年前との比較

2014 年 7 月：24 日 8 月：21 日 9 月：8 日

2024 年 7 月：25 日 8 月：29 日 9 月：21 日

2 事業内容

中学校（1 校）及び義務教育学校（2 校）の計 3 校の体育館において空調整備工事を実施する。

- ・ 上下中学校体育館
- ・ 府中明郷学園後期課程体育館
- ・ 府中学園体育館

3 スケジュール

事業	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
中学校体育館空調設備整備業	設 計 →	工事入札準備・入札 →	工 事 →	

4 当初予算額 150,000 千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	75,374		74,600		26

駅周辺を中心とした賑わいづくり【一部新規】

担当課／ 電話番号	(エリアマネジメント) 政策企画課／0847-44-9077
	(道の駅・ひろば・i-core FUCHU) 商工労働課／0847-44-9153
	(図書館周辺整備) 都市デザイン課／0847-44-9170

1 事業の目的

「道の駅びんご府中」や「i-coreFUCHU」の集客に加え、「新B & G海洋センター」や「道の駅ひろば（仮称）」のオープンにより新たに生まれる人流をまちの賑わいとし、まちの活性化と市内への経済波及効果を創出する。エリア内でフード・アート・音楽・マルシェ・ファミリー・ものづくり体験等、日常的に参加できるイベントや講座を開催し、賑わいを生みだし、市の内外から訪れた人々が周辺エリアにも立ち寄ることで、相乗的な市内の賑わい創出・活性化を図る。

※新B & G海洋センターは資料6に掲載

2 事業内容

(1) 図書館周辺整備事業【継続】

要望の多かった駐車スペースを整備し、利用者増を見込む。屋外でも滞留できる空間も設け、図書館利用者が作り出す人の流れを中心市街地のさらなる活性化につなげる。

(2) 道の駅北館（チャレンジショップ）【運用見直し】

道の駅北館（交流テラス）を短期間レンタル可能なチャレンジショップとすることで、新たに生まれる人流をターゲットにしたビジネスチャンスの創出とともに、本エリア来訪者に向けたサービス向上・コンテンツ充実を図る。

(3) 道の駅ひろば（仮称）の活用【新規】

新B & G海洋センター横のスペースでは、多くの人々が楽しみながらくつろげるようなエリアを目指しつつ、イベントがない日には駐車スペースとして活用する。

(4) i-core FUCHU インフォメーションカウンター【運用見直し】

駅南エリア内の屋内（i-core FUCHU）及び屋外（道の駅ひろば）貸出空間の利用予約受付窓口をインフォメーションカウンターに一本化する。

3 当初予算額 147,071千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	26,792		120,200		79

(内訳)

(千円)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
(1) 図書館周辺整備事業	147,071	26,792		120,200		79

※(2)～(4)は単独での該当予算なし

スポーツを活用した賑わいの創出【一部新規】

担当課	スポーツ振興課
電話番号	0847-44-9137

1 事業の目的

上下運動公園人工芝グラウンド、スポーツ&ウェルネス拠点施設としての新しいB & G海洋センターの整備を契機として、外部知見との連携を図りながら、地域住民が主体となって、スポーツを活用した賑わいを創出し、その恩恵を市民が享受できる「スポーツのまち府中市」の実現を目指す。

2 事業内容

(1) 新B & G海洋センター【継続】

「府中に住む人」、「府中で働く人」のためのスポーツ&ウェルネスセンターとして、令和7年7月1日に供用開始する。

ア 施設の開業

多くの人で賑わう施設とするため、開業に向けた準備段階から、積極的な情報発信を行い、利用者の獲得及び定着に取り組む。

イ 府中駅南エリアの賑わい創出

i-coreFUCHU や道の駅びんご府中などの周辺施設との連携により、新たな人の流れをつくり、エリア全体の賑わいにつなげていく。

(2) 上下運動公園【継続】

人工芝グラウンドの整備を契機に、スポーツによる賑わいを地域につなぐ施設として、地域との連携を進めていく。

ア 施設の魅力向上

多様なスポーツでの利用やイベントなどのスポーツ以外での利用を促進することで、施設の魅力を向上させる。

イ 地域との連携

地域の人、観光・商工関係者等との連携により、スポーツツーリズムの構築を進める。

(3) 地域スポーツの活性化【新規】

少子化や高齢化が進む中で、持続可能なスポーツ活動を推進するためのプラットフォームを構築するため、地域おこし協力隊制度を活用した取り組みを進める。

【期待される成果】

- ・少子化等に伴うこどものスポーツ環境の確保
- ・中学校部活動（スポーツ）の地域移行の推進

【期間中のマイルストーン】

1 年目：本市における状況の把握

2 年目：取組方針の検討

3 年目：プラットフォームの構築に向けた方針の策定

3 当初予算額 118,759 千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
					118,759

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
(1) 新B & G 海洋センター（開業準備業務）	23,100					23,100
(1) 新B & G 海洋センター（指定管理料）	75,339					75,339
(2) 上下運動公園（指定管理料）	16,400					16,400
(3) 地域スポーツの活性化（地域おこし協力隊）	3,920					3,920

健康寿命の延伸【継続】

担当課	健康推進課
電話番号	0847-47-1310

1 概要

市民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、健康ふちゅう 21（第3次）計画を策定した。生活習慣病の発症予防と重症化予防を図るとともに、社会生活を営むために必要な機能の維持および向上を目指し、ライフステージに応じた栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙および歯・口腔の健康に関する生活習慣および社会環境の改善に取り組む。

■健康寿命の延伸・健康格差の縮小イメージ（健康日本 21 より）



2 重点的な取組

健康増進事業とフレイル予防、介護予防事業をより一体的に推進するため、健康増進部門と介護予防部門の業務体制を見直すことで取組を進めていく。

(1) より良い生活習慣の形成、生活習慣の改善

健康寿命の延伸を実現するためには、早期からの健康増進、疾病予防など一次予防が何よりも重要であり、生活習慣の改善に向けた啓発を推進する。

ア 正しい食習慣や栄養バランスへの理解・啓発

イ 運動習慣の定着

ウ 睡眠と休養による心身の健康を確保するための普及・啓発

エ 歯と口腔の健康づくりのための普及・啓発

◎主な事業

・食生活改善推進員の活動支援、フレイル予防に関する健康教育の開催

(2) 生活習慣病の予防・重症化予防

自分の健康は自分で守る意識を持ち、健診の定期的な受診等により自らの健康状態を知ること、日々の生活習慣を見直し、改善する意識を啓発する。

ア 健康づくりや健康管理への理解と関心を高めるための情報発信

イ 疾病の早期発見・早期治療・重症化予防の促進

◎主な事業

- ・生活習慣の改善を促すため、国民健康保険加入者への特定健診と特定保健指導を実施
- ・病気の早期発見・治療につなげるため、各種がん検診を実施

(3) ライフステージに応じた健康づくりの推進

自立した健やかな日常生活を送るため、ライフステージや性の特有の健康課題に対して、生涯を経時的に捉えた健康づくりに取り組む。

ア 次世代の健康づくり

イ 働き盛り世代の健康づくり

ウ 高齢者の健康づくり

エ 女性の健康づくり

◎主な事業

- ・各種フレイル予防教室（元気もりもり教室、げんき元気教室など）を実施

(4) 健康づくり活動を支える社会環境づくり

市民が健康を意識し自ら健康増進活動に取り組めるよう、個人の健康を支える社会環境の質の向上を図る。

ア こころの健康づくり

イ 健康づくりへの理解促進ときっかけづくり

ウ 地域との連携による健康づくり

◎主な事業

- ・メンタルサポーターの養成、相談体制の充実

3 当初予算額 134,203千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	10,144	5,111		67,747	51,201

(内訳)

事業	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
(1) 食育、フレイル予防啓発	1,449		92			1,357
(2) 特定健診、特定保健指導	48,075				48,075	0
がん検診	44,465					44,465
(3) フレイル予防教室	39,344	9,836	4,918		19,672	4,918
(4) こころの健康づくり	870	308	101			461

※財源内訳のうち(2)の特定健診・特定保健指導は国民健康保険特別会計、(3)のフレイル予防教室は介護保険特別会計

浸水対策事業【継続】

担当課	下水道課
電話番号	0847-43-7163

1 事業の目的

平成 30 年 7 月豪雨の際、市内各所で内水浸水被害（床上・床下）が発生したことから、将来にわたり安全で安心して生活できる地域づくりのため、内水浸水対策を行うことで浸水被害の軽減を図る。

2 事業内容

(1) 大規模雨水処理施設整備事業【継続】

浸水対策検討委員会で決定したポンプ機能の強化として、新たに中須ポンプ場を整備する。

全体計画 9.8 m³/秒のうち、第 1 期整備として 5.0 m³/秒の整備を行う。

ア スケジュール(第 1 期分・主要内容)

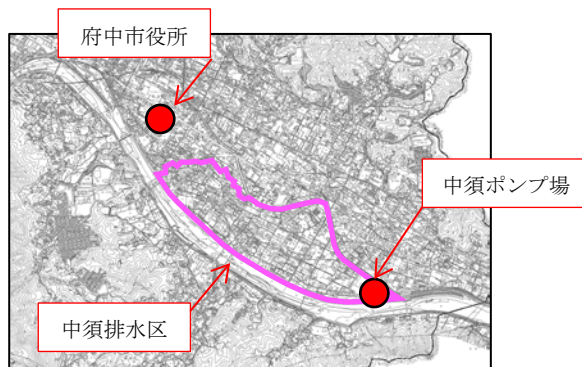
令和 6 年度 土木（造成、ポンプ棟構築、放流渠等）※発注済

令和 7 年度 機械（ゲートポンプ 1 門「ポンプ 2 台」、除塵機等）
電気（受変電設備、自家発電設備等）

令和 8 年度 土木（護岸、護床、場内整備等）
建築（自家発電棟等）

※令和 8 年度内の供用開始を目標とする

イ 位置図とイメージ図



中須排水区と中須ポンプ場位置図



中須ポンプ場イメージ図

3 当初予算額 724,000千円 ※下水道事業会計

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	362,000		362,000		

公共施設の手続オンライン化【新規】

担当課	D X 推進課
電話番号	0847-44-9113

1 事業の目的

公共施設を使用するために必要となる空き状況の確認や申請等の手続について、オンラインで手続が可能となるシステムを導入することにより、市民生活のデジタル化推進と利便性が向上するとともに、施設の空き時間を効率よく予約できるようになり、利用率向上及び利用促進が図れる。あわせて、使用料等の支払方法としてキャッシュレス決済を導入する。

また、オンライン化により問い合わせや受付業務等の手続にかかる職員の負担が軽減され、職員の適正配置と持続可能な施設運営を目指す。

2 事業内容

公共施設（別紙）の手続をオンライン化するために予約システムを導入し、市民がより快適に施設を利用できる環境を整え、インターネットを通じて 24 時間いつでもどこからでも施設の空き状況を確認し、予約や決済ができる仕組みを構築する。

また、キャッシュレス決済機能により、支払のための来館や窓口での現金対応や手続の煩雑さを解消する。

3 スケジュール

事業	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
オンライン化事業		システム構築	周知・広報	
			運用	

4 当初予算額 7, 6 5 1 千円

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	3, 825	1, 597			2, 229

(内訳)

予算額内訳	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
(1) システム導入委託料	6, 391	3, 195	1, 597			1, 599
(2) システム利用料 (10-3 月分)	1, 050	525				525
(3) キャッシュレス決済手数料 (10-3 月分)	210	105				105

※国費：新しい地方経済・生活環境創生交付金

※県費：デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業補助金

別表 対象公共施設（現在検討中のもの）

分類	所管課	施設数
文化施設	総務課	1
スポーツ施設	スポーツ振興課	25
保健・福祉施設	健康推進課・上下支所	2
子育て支援施設	子育て応援課	3
産業系施設	商工労働課	2
観光施設	観光ブランド課	4
農業系施設	農林課	1
公園	土木課	1
公民館	教育政策課	15
学校教育施設	教育政策課	12
合 計		66

持続可能な財政運営プラン【新規】

担当課	財政課
電話番号	0847-44-9124

1 事業の目的

人口減少・少子高齢化がさらに進むことが見込まれる中、市税収入の伸び悩み、公債費や扶助費といった義務的経費、特別会計や公営企業等に対する繰出金や補助費などの経費の増加が避けられない状況である。こうした厳しい財政状況からの脱却を図るため、今後の具体的目標や取組項目を示した『持続可能な財政運営プラン』を着実に実行し、持続可能な財政構造への転換を図る。

2 事業内容

財政調整基金に頼らない、収支が均衡した持続可能な財政構造への転換を図ることにより、計画最終年度（令和 11 年度）末に 24 億円の基金残高を確保するため、『持続可能な財政運営プラン』（令和 7 年度から令和 11 年度）に基づき、市民サービスの低下が起こらないよう最大限配慮したうえで、歳入歳出両面からの徹底した事業見直しを実施する。

(1) 歳出の削減

ア 歳出の削減	35.2 億円
①人件費の見直し	9.6 億円
②既存主要事業の見直し（総量圧縮）	14.3 億円
③内部経費の圧縮	6.6 億円
④補助金支出の適正化	3.2 億円
⑤将来負担マネジメント	1.5 億円

(2) 歳入の確保

イ 歳入の確保	12.0 億円
①徴収率・収納率の向上	0.1 億円
②受益者負担の適正化	1.0 億円
③自主財源の確保	3.7 億円
④市有財産の売却	1.3 億円
⑤財源対策	5.9 億円

合計（ア＋イ）

5 年間の取組み額の合計	47.2 億円
--------------	---------

※令和 7 年度当初予算編成においては収支の均衡が図れたが、計画期間中になお見込まれる累積収支不足額 17.4 億円については、今後の継続的な事業見直しにより解消を図っていく。

3 当初予算額

財源内訳	国費	県費	市債	その他	一般財源
	—	—	—	—	—